

刈谷市障害者計画・第5期刈谷市障害福祉計画・第1期刈谷市障害児福祉計画

パブリックコメントの結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 平成29年12月1日（金）～平成30年1月4日（木）
 (2) 意見の件数 5件（3人）
 (3) 提出方法の内訳 ファックス：4件、持参：1件

2 内容別の意見の件数

刈谷市障害者計画	
第1章 計画の概要	0件
第2章 障害のある人等の状況	0件
第3章 計画の基本的な考え方	0件
第4章 施策の展開	5件
第5期刈谷市障害福祉計画・第1期障害児福祉計画	
第1章 計画の概要	0件
第2章 成果目標の設定	0件
第3章 障害福祉サービス等の見込み	0件
計画の推進体制	0件

3 意見の概要と市の考え方

□刈谷市障害者計画 第4章 施策の展開

No.	ページ	意見の概要	市の考え方
1	39	市民だよりでは、イベント等の開催のお知らせの際に「託児・手話通訳あり」と記載されているのをよく見るが、「要約筆記あり」の記載は少ない。難聴者、中途失聴者を含む聴覚障害者は手話が分かる人ばかりではないので、聴覚障害者がもっと参加したくなるように手話通訳だけでなく、要約筆記の記載を増やしてほしい。	市民だよりでのイベント等の周知の際に、手話通訳だけでなく、要約筆記の活用が可能であることも記載し、聴覚障害者がイベント等に参加しやすい環境をつくれます。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方
2	40	福祉タクシー券の交付枚数を増やしてほしい。	福祉タクシー券は申請月から年度末まで1か月あたり3枚の割合で、最大36枚交付しています。必要な枚数は個々の実情により異なりますので、現在のところは交付枚数を増やす考えはありません。
3	55	かりがね小学校、平成小学校等では実施されているが、学校を開放した避難所開設訓練を実施してほしい。	学校等における避難所開設訓練については、自主防災会が主体となっていくつかの地区で実施しており、今後も多くの地区で実施されるよう、働きかけを行っていきたくと考えています。
4	56	健全者が障害のある人に声をかけてあげたいと思っているとき、ヘルプマークがバッグなどについていればわだかまりなく声掛けや助け合いが出来るようになると思う。もっと一般的に普及すると良いと思うので計画に定めて普及に努めてほしい。	ヘルプマークは周囲の方に援助や配慮が必要なことを知らせる有効な手段であるため、計画に定め、今後、ヘルプマークを作成、配布し、普及啓発に取り組みます。
5	56	障害のある人や障害に関わるボランティア団体などのインタビューや一問一答による形式で、感想や意見を市民だよりに連載してはどうか。	障害に対する市民の理解の促進は不可欠なものと捉えており、障害者計画の重点課題として掲げております。実施の検討に当たっては、ご意見を参考とさせていただきます。